

令和4年度 第1回 岡崎市歴史まちづくり協議会 議事録

開催日時: 令和4年 8月 8日(月) 14:00~15:30

開催場所: 岡崎市役所西庁舎 701 会議室

出席者:

会長	学識経験者	瀬口 哲夫
副会長	学識経験者	加藤 安信
委員	学識経験者	野本 欽也
	学識経験者	三浦 正幸
	学識経験者	松本 幸正
	景観整備機構	清川 ひろみ
	景観整備機構	太田 亮哉
	岡崎市観光協会	初井 泰晴
	愛知県西三河建設事務所長	寺西 億人
	愛知県県民文化局文化部文化芸術課文化財室室長補佐	皆見 秀久(代理)
	岡崎市経済振興部長	鈴木 洋人
	岡崎市経済振興部技術担当部長	鈴木 康弘
	岡崎市都市政策部長	鈴木 広行
	岡崎市教育委員会事務局教育部長	河合 剛志
オブザーバー	国土交通省中部地方整備局建政部都市調整官	石橋 隆史
事務局	都市政策部まちづくりデザイン課長	浅井 恒之
	教育委員会事務局社会教育課長	福澤 純子
	都市政策部まちづくりデザイン課副課長	小林 雄一郎
	教育委員会事務局社会教育課副課長	鈴木 幸宏
	経済振興部観光推進課観光推進係係長	清水 里美
	都市政策部まちづくりデザイン課景観まちづくり係係長	神谷 雅範
	教育委員会事務局社会教育課文化財係係長	岡山 幸男
	教育委員会事務局社会教育課岡崎城跡係係長	菅沼 貴之
	都市政策部まちづくりデザイン課景観まちづくり係主事	神尾 実沙
	都市政策部まちづくりデザイン課景観まちづくり係技師	森 大輝
	景観整備機構	深田 賢之

欠席者:

次第:

- 1 開会
- 2 議題
(協議)
(1) 岡崎市歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価について
(2) 岡崎市歴史的風致維持向上計画の事業進捗管理について
- 3 閉会

配布資料:

- 資料1 岡崎市歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価
- 資料2 令和3年度進行管理・評価シート
- 資料3 令和4年度歴史的風致維持向上計画事業一覧
- 資料4 令和4年度主要事業概要

議事内容

1 開会

事務局 本日の協議会の成立について、現在、委員 15 名中 14 名の出席をいただいているため、岡崎市歴史まちづくり協議会運営規程第3条第3項の規定により、定足数を満たしており、会議が成立していることを報告する。

事務局 (委員紹介)

事務局 それでは、瀬口会長に議事進行をお願いします。

2 議題

会長 当協議会運営規程第6条第1項の規定により、議事録署名委員を2名指名することとなっている。事務局が作成する議事録に署名いただく委員として、本日の会議は、名簿順に、三浦委員と松本委員の両名をお願いします。続いて、本会議の公開について、事務局から説明願う。

事務局 本会議は、当協議会運営規程第5条第1項の規定により、原則として公開することとなっているが、本日の議題のうち、協議(2)「岡崎市歴史的風致維持向上計画の事業進捗管理について」は、非公開とさせていただく。理由として、「市の内部における審議、検討又は協議に関する情報であって、公にすることにより、率直な意見の交換若しくは意思決定の中立性が不当に損なわれるおそれ、不当に市民の間に混乱を生じさせるおそれ又は特定の者に不当に利益を与え若しくは不利益を及ぼすおそれのあるもの」として、同条ただし書きの岡崎市情報公開条例第7条に規定する非開示情報を含む事項に該当するためである。審議をお願いします。

会長 事務局から会議の公開について説明があった。協議(2)については、非公開とすることに異議はないか。

(異議なし)

会長 「異議なし」とのことなので、協議(2)については非公開とし、本日の議事に入る。

(協議)

(1) 岡崎市歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価について

事務局 (資料1、2の説明)

会長 ただいまの説明について、意見、質問はあるか。

◎資料2 令和3年度進行管理・評価シート、法定協議会等におけるコメントについて

会長 p.31、法定協議会等におけるコメントについて、岡崎城跡発掘等調査事業の公共用地以外における城郭遺構の保存について、その後の進捗や、庁内での検討状況はいかがか。

事務局 公共用地以外については、地権者の権利を侵害することにもなるため困難である。事前の発掘調査により、記録による保存を行っていきたいと考えている。

会長 岡崎ニューグランドホテル東側専売公社跡地は、城跡の内郭にあたる。あのような場所を取得することは難しいか。

鈴木(広)委員 市で土地を取得する意図や目的を定めないと、購入までに至らないというのが現状である。本協議会等で議論し、強く要望事項を出す等、担当部局と共に考え方を発言していくことが重要だと思う。今一度、協議して検討したい。

会長 他にも岡崎城跡、岡崎城下町内では3度ほど同様の機会があった。一つ目、伝馬町の糸惣

(江戸時代の町屋)は、規模は小さい建物だったが、保存ができなかった。二つ目、唐弓弦、大きな建物だったが、相続人がいなかったので、市で保存できたら良かったと思うが、買収できなかった。三つ目、マンション建設予定地に馬出しが発掘されたが、これも対応できなかった。

また、文化財保護審議会でも位置づけをしていただけると良い。近世の城下町の近世の町屋はあと2つしかないので、このままでは城下町内には近世の町屋がなくなってしまう。

(2) 岡崎市歴史的風致維持向上計画の事業進捗管理について【非公開】

3 閉会

事務局 円滑かつ慎重な協議、大所高所からの意見に感謝する。次回は3月頃を予定している。

会長 これをもって、令和4年度第1回岡崎市歴史まちづくり協議会を閉会する。

以上